

学校教育目標

(1) 日章小学校の教育目標

昭和47年制定



- 強いからだの子ども (体)
- よく考える子ども (知)
- 仲よくする子ども (情)
- 進んで仕事をする子ども (意)

校名の由来



校章の由来

中庸に曰く、「君子之道 闇然而日章 小人之道 的然而日亡」。日章小学校は、君子の道を学ぶ者の集う場であり、また、君子の道を行なう者の集まる所であって、その徳、その名は日に日に章かとならなければならない。校名は、こうした高度な教育の理想の上に名付けられた。智は賢明な判断力、勇は積極的な実行力を意味し、各学級の名前とした。学級名は、「智・勇・仁・信・誠・敬・礼」を用いてきている。

校章は、旧校名「忠別」を象徴化し、大正6年頃に制定された。「忠別」はアイヌ語の「チュプペツ（太陽）」である。太陽を中心として、朝日の輝く様を象徴したものであり、風雪に耐える開拓魂を雪の六陵で、教育・学問の尊ぶべきこと、及びその理想をペンで表したとされる。

(2) 教育目標のおさえ

強いからだの子ども
(体)

心身の健康は人間の基礎である。
体を鍛えることにより、生涯を通じて元気に生き抜く基礎を育む。

よく考える子ども
(知)

学びの主体は児童である。
主体的・対話的で深い学びを実現し、生涯に渡って学び続ける基礎を育む。

仲よくする子ども
(情)

人は社会との関わりの中で生きていく。
よさを認め、思いやり、助け合うなど、心豊かな行いの基礎を育む。

進んで仕事をする
子ども (意)

信頼を築くことでよりよく生きる。
役割を自覚し、責任をもって粘り強くやり遂げる実行力の基礎を育む。